

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025 年 第 37 週（9 月 8 日～9 月 14 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型 患者 5 人、無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 5 人、不明 1 人 腸チフス 1 人 推定感染地域 国外
四類感染症	E 型肝炎	1 人	推定感染地域 国内
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種 <i>Enterobacter</i> sp.
	後天性免疫不全症候群	2 人	病型 無症状病原体保有者 2 人
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人	
	水痘（入院例）	1 人	病型 臨床診断例
	梅毒	14 人	病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、早期顕症Ⅱ期 5 人、 無症状病原体保有者 5 人
	百日咳	133 人	
	年齢階級	0 歳 6 人、1 歳 5 人、2 歳 4 人、3 歳 6 人、4 歳 7 人、 5 歳 6 人、6 歳 4 人、7 歳 3 人、8 歳 7 人、9 歳 12 人、 10 歳代 35 人、20 歳代 7 人、30 歳代 14 人、40 歳代 5 人、 50 歳代 6 人、60 歳代 2 人、70 歳代 2 人、80 歳代 2 人	

〈百日咳の患者情報〉

第 37 週に届出があった百日咳の患者数（第 36 週以前に診断された患者を含む）は 133 人であった（前週 140* 人）。

第 37 週に診断された患者数は 101 人で、この内訳を年齢階級別にみると、5～9 歳が 20 人（全体の約 20%）と最も多く、次いで 1～4 歳及び 10～14 歳が各 19 人（約 19%）であった（図 1）。

（参考）埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報（URL：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious_disease.html）

〈定点把握疾患の患者情報〉

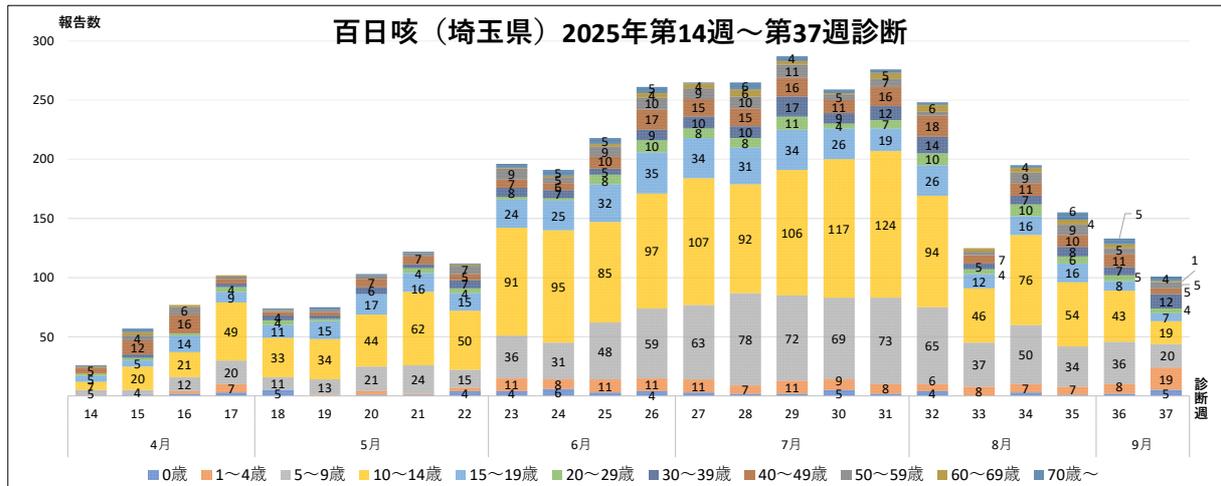
新型コロナウイルス感染症（8.40*→9.93：図 2）の定点当たり報告数は、第 34 週から第 36 週にかけて緩やかな減少傾向にあったが、今週は前週の値を上回った。保健所管内別では、幸手（14.00→22.22）、鴻巣（11.83→18.75）保健所管内で大きく増加し、年齢階級別では、10～14 歳（134 人→252 人）及び 15～19 歳（83 人→231 人）で大きく増加した。基幹定点における**入院患者**の報告は 34 人（前週 28 人）であり、年齢階級別では 70 歳以上が全体の約 56%であった。**RSウイルス感染症**（1.74→1.89：図 3）の定点当たり報告数は、8 月中旬以降増加傾向にあり、やや多い状況にある。保健所管内別では、南部（1.00→4.33→8.00）保健所管内で前週に引き続き大きく増加した。年齢階級別では、1 歳以下が全体の約 71%であった。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（2.77→3.15：図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加し、過去 2 年（2023 年及び 2024 年）の同時期と比較してやや多い状況にある。**急性呼吸器感染症**（71.44*→81.67：図 5）の定点当たり報告数は、報告開始となった 4 月以降、おおむね 60.00～80.00 の範囲で推移している。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 50 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 16 人（前週 11 人）、**感染性胃腸炎**（ロタウイルスに限る）1 人、**インフルエンザ（入院）** 1 人の報告があった。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<注目すべき疾患（百日咳）>

図1 百日咳の診断週別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

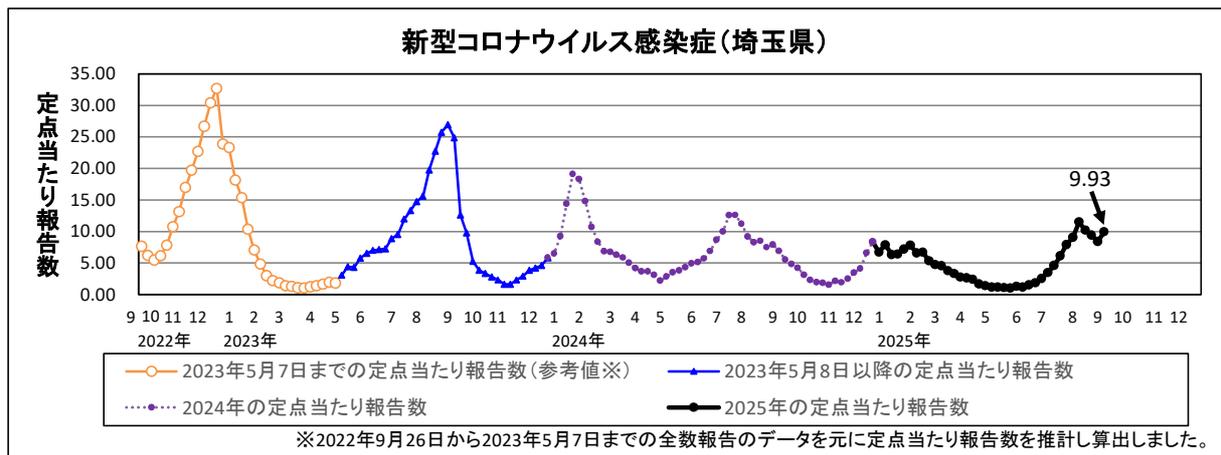


図3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

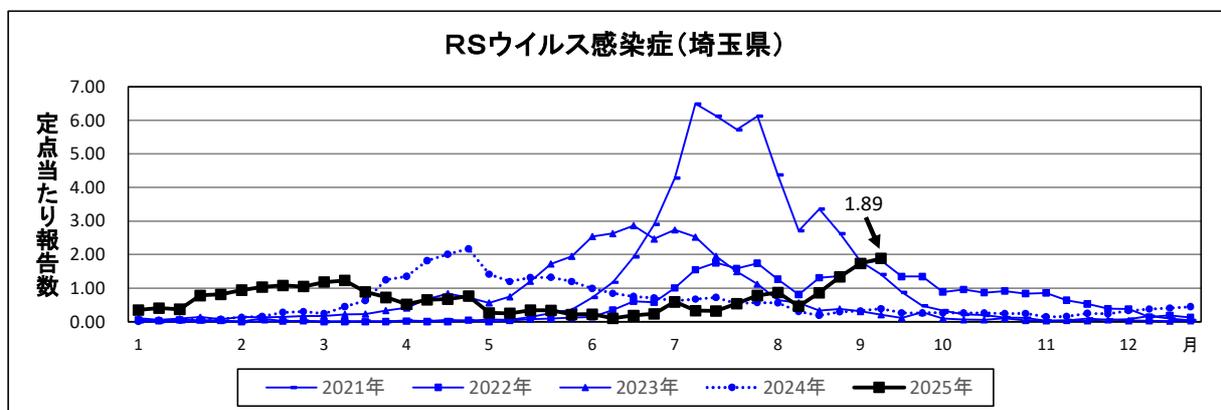


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

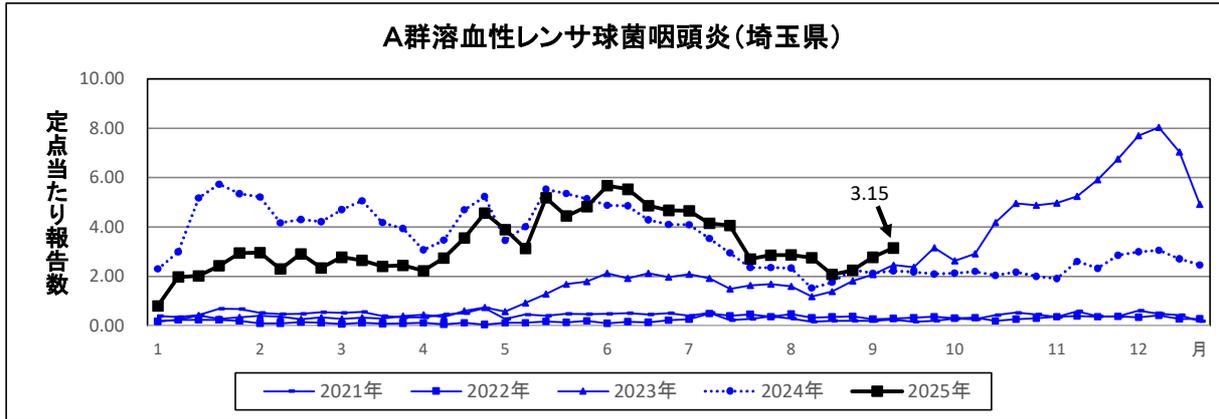
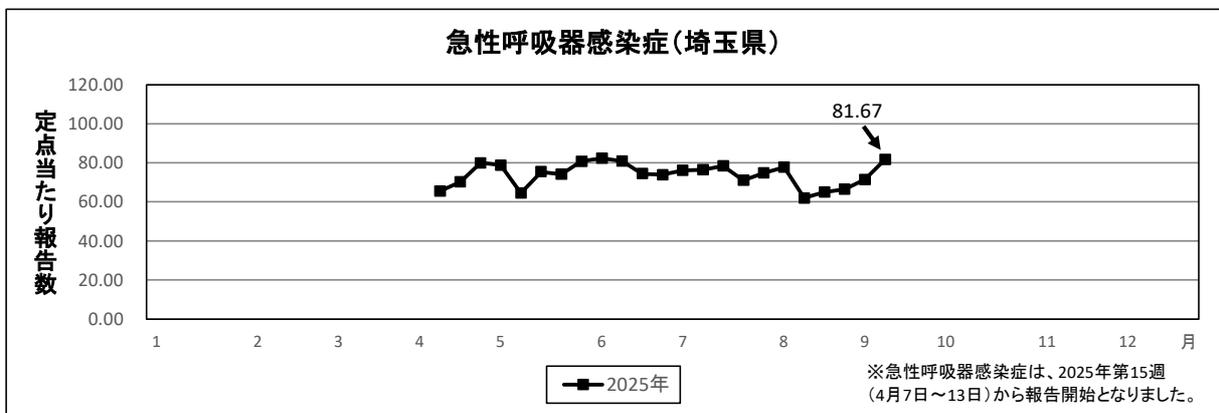


図5 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第37週)

(2025年9月16日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス	1	3
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	114			
四類感染症					
E型肝炎	1	29	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症		66
つつが虫病		1	レプトスピラ症		1
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		7	侵襲性肺炎球菌感染症	1	121
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)	1	22
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	57	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	14	392
急性脳炎		32	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		6
クロイツフェルト・ヤコブ病		10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		49	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
後天性免疫不全症候群	2	25	百日咳	133	4105
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		16	麻しん		9
侵襲性髄膜炎菌感染症		3	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年8月分)

2025年8月の届出総数は、患者28人、無症状病原体保有者10人の計38人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに減少した。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに少なかった。推定感染地域は国内17人、国外6人、不明15人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年8月～2025年8月)

	2024年*					2025年								累計**
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
総計	48	59	64	58	76	65	51	58	59	61	68	54	38	454
年齢階級														
10歳未満	0	1	1	1	1	2	4	2	1	2	0	0	1	12
10歳代	0	0	2	0	2	0	1	0	0	4	0	1	1	7
20歳代	6	6	4	4	11	7	5	7	5	7	8	8	6	53
30歳代	5	4	6	0	6	5	2	3	3	5	6	5	2	31
40歳代	2	0	6	5	4	1	5	8	5	4	6	3	5	37
50歳代	6	8	9	9	7	14	6	3	10	5	8	4	4	54
60歳代	9	8	7	4	9	6	7	7	4	5	8	10	1	48
70歳代	9	17	7	12	10	13	8	11	7	9	14	7	2	71
80歳代	7	9	17	18	17	8	12	11	11	13	12	14	12	93
90歳以上	4	6	5	5	9	9	1	6	13	7	6	2	4	48
性														
男	29	39	36	32	44	44	30	34	41	26	41	32	19	267
女	19	20	28	26	32	21	21	24	18	35	27	22	19	187
類型														
患者	33	37	40	35	43	34	29	35	40	38	47	37	28	288
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
無症状病原体保有者	15	22	23	23	33	30	22	23	19	22	20	17	10	163
病型														
肺結核	17	26	29	24	30	22	22	27	28	23	27	24	17	190
肺結核及びその他の結核	5	4	4	3	5	4	3	2	6	4	5	4	5	33
その他の結核	11	7	7	8	8	8	4	6	6	11	15	9	6	65
疑似症患者	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
無症状病原体保有者	15	22	23	23	33	30	22	23	19	22	20	17	10	163
推定感染地域														
国内	25	28	38	40	50	38	28	35	24	35	40	30	17	247
国外	2	3	3	4	6	10	4	5	3	4	8	4	6	44
不明	21	28	23	14	20	17	19	18	32	22	20	20	15	163

*:2024年の届出数は暫定値

**:2025年1月からの累積届出数

8月に診断された38人を病型別にみると、肺結核は20歳以上の年齢階級から計17人の報告があり、80歳代が5人で最も多かった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年8月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	17	5	6	0	10	38
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	1	0	0	1
20歳代	4	0	0	0	2	6
30歳代	0	0	1	0	1	2
40歳代	4	0	1	0	0	5
50歳代	1	1	0	0	2	4
60歳代	1	0	0	0	0	1
70歳代	1	1	0	0	0	2
80歳代	5	1	3	0	3	12
90歳以上	1	2	0	0	1	4

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第37週

9月8日~9月14日)

保健所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	報告数 132	1,738	14,293	206	28	343	540	39	80	49	45	156	11	-	50	-	-	16	-	1	1	34
	定点当たり 0.75	9.93	81.67	1.89	0.26	3.15	4.95	0.36	0.73	0.45	0.41	1.43	0.10	-	1.16	-	-	1.33	-	0.08	0.08	2.83
朝 霞	報告数 25	268	1,224	4	1	35	56	4	8	4	3	16	-	-	5	-	-	6	-	-	-	3
	定点当たり 1.56	16.75	76.50	0.40	0.10	3.50	5.60	0.40	0.80	0.40	0.30	1.60	-	-	1.00	-	-	6.00	-	-	-	3.00
鴻 巣	報告数 2	225	1,601	19	6	40	49	-	3	11	6	5	-	-	9	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 0.17	18.75	133.42	2.71	0.86	5.71	7.00	-	0.43	1.57	0.86	0.71	-	-	3.00	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 2	18	385	-	-	4	35	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり 0.50	4.50	96.25	-	-	1.33	11.67	-	-	1.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数 -	17	89	1	-	4	-	1	-	-	-	2	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	4.25	22.25	0.33	-	1.33	-	0.33	-	-	-	0.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 -	24	203	-	1	-	-	-	3	6	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	6.00	50.75	-	0.33	-	-	-	1.00	2.00	-	1.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 20	74	588	6	1	15	31	7	1	2	-	17	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり 2.22	8.22	65.33	1.20	0.20	3.00	6.20	1.40	0.20	0.40	-	3.40	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	1.00
加 須	報告数 1	49	122	-	-	3	-	-	1	1	1	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	3
	定点当たり 0.20	9.80	24.40	-	-	1.00	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	3.00	-	-	2.00	-	-	-	3.00
春 日 部	報告数 27	67	811	6	3	11	27	-	5	-	-	4	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 4.50	11.17	135.17	2.00	1.00	3.67	9.00	-	1.67	-	-	1.33	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 2	200	1,331	33	-	28	17	1	1	1	2	9	5	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 0.22	22.22	147.89	6.60	-	5.60	3.40	0.20	0.20	0.20	0.40	1.80	1.00	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 3	33	434	2	-	5	27	1	4	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり 0.75	8.25	108.50	0.67	-	1.67	9.00	0.33	1.33	1.00	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
草 加	報告数 6	113	635	13	2	12	14	7	2	2	3	5	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 0.60	11.30	63.50	2.17	0.33	2.00	2.33	1.17	0.33	0.33	0.50	0.83	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 10	176	970	25	1	33	36	6	10	5	4	13	-	-	2	-	-	2	-	-	1	6
	定点当たり 0.77	13.54	74.62	2.50	0.10	3.30	3.60	0.60	1.00	0.50	0.40	1.30	-	-	0.40	-	-	2.00	-	-	1.00	6.00
南 部	報告数 6	47	334	24	-	22	32	-	11	2	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり 1.20	9.40	66.80	8.00	-	7.33	10.67	-	3.67	0.67	0.67	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
川 越 市	報告数 3	48	821	3	3	15	18	2	5	1	4	12	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 0.33	5.33	91.22	0.60	0.60	3.00	3.60	0.40	1.00	0.20	0.80	2.40	0.20	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 8	44	538	3	1	5	16	1	3	2	3	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
	定点当たり 1.00	5.50	67.25	0.60	0.20	1.00	3.20	0.20	0.60	0.40	0.60	0.60	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	3.00
川 口 市	報告数 6	92	1,122	5	2	18	34	1	15	2	6	25	3	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	定点当たり 0.43	6.57	80.14	0.63	0.25	2.25	4.25	0.13	1.88	0.25	0.75	3.13	0.38	-	0.25	-	-	-	-	-	-	4.00
さいたま市	報告数 11	243	3,085	62	7	93	148	8	8	4	9	25	1	-	15	-	-	2	-	1	-	8
	定点当たり 0.26	5.65	71.74	2.30	0.26	3.44	5.48	0.30	0.30	0.15	0.33	0.93	0.04	-	1.67	-	-	2.00	-	1.00	-	8.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

9月 16日 14:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2025年第37週

9月8日～9月14日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	132	1	-	2	3	11	9	10	8	9	7	4	23	10	6	8	8	8	2	1	2	
新型コロナウイルス感染症	1,738	15	20	35	32	18	14	19	30	33	33	47	252	231	120	177	175	178	112	88	109	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～									
急性呼吸器感染症	14,293	814	5,474	3,482	1,258	567	419	605	473	437	288	258	218									
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	206	26	36	84	30	14	8	3	3	-	1	-	1	-	-							
咽頭結膜熱	28	-	1	7	4	1	4	6	3	1	1	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	343	-	-	6	14	37	38	37	43	49	30	31	35	4	19							
感染性胃腸炎	540	11	30	74	63	51	49	42	43	31	18	22	72	10	24							
水痘	39	-	5	1	2	1	2	3	4	5	6	2	7	1	-							
手足口病	80	3	5	31	13	10	8	1	2	2	2	1	1	-	1							
伝染性紅斑	49	-	-	4	3	7	10	10	8	3	1	1	2	-	-							
突発性発しん	45	-	8	26	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	156	-	11	51	38	14	10	9	8	5	3	2	3	-	2							
流行性耳下腺炎	11	-	1	-	1	2	-	1	1	2	-	2	1	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	50	1	-	4	2	4	2	3	-	1	2	-	3	3	2	9	10	1	1	2		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	16	-	2	7	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
新型コロナウイルス感染症(入院)	34	4	1	-	1	1	-	-	-	1	1	1	-	1	1	3	19					

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第35週 (8月25日～8月31日)

令和7年9月17日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,849):インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.29)、青森県(1.23)、鹿児島県(0.77)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は39例と前週と比較して増加した。都道府県別では21都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(3例)、1～9歳(9例)、10代(3例)、40代(1例)、50代(3例)、60代(4例)、70代(8例)、80歳以上(8例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(17.82)、鹿児島県(14.84)、長崎県(13.92)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,293例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(71例)、1～9歳(71例)、10代(22例)、20代(30例)、30代(29例)、40代(36例)、50代(96例)、60代(181例)、70代(587例)、80歳以上(1,170例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,842)定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(81.29)、群馬県(80.40)、栃木県(71.47)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,345):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(0.61)、京都府(0.60)、大分県(0.56)、沖縄県(0.56)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(4.43)、栃木県(2.85)、長崎県(2.74)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県(8.84)、大分県(8.06)、宮崎県(7.60)である。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(0.53)、鹿児島県(0.42)、埼玉県(0.39)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(2.90)、高知県(1.20)、沖縄県(1.00)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(6.38)、大分県(5.53)、長崎県(4.74)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は富山県(3.11)、山形県(2.62)、石川県(2.43)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.17)、大分県(0.11)、埼玉県(0.10)である。

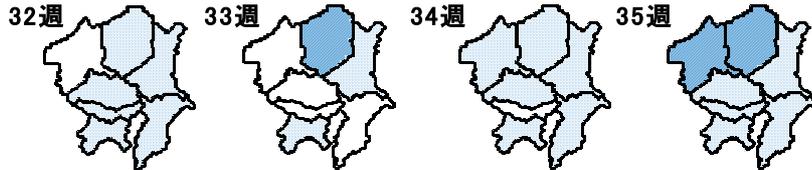
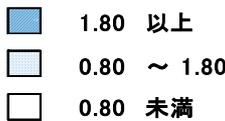
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は秋田県(5.00)、群馬県(3.11)、栃木県(2.71)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。5都道府県から5例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、5～9歳(2例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第35週(8月25日～8月31日):通巻第27巻 第35号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、栃木県(2.63)、群馬県(1.88)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



		2025年 35週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,347	375	8	3	11	61	75	98	119
	定点当たり	0.35	0.32	0.12	0.06	0.24	0.35	0.41	0.24	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	32,197	8,035	670	417	289	1,655	1,523	1,924	1,557
	定点当たり	8.37	6.85	9.85	8.87	6.42	9.40	8.23	4.63	6.60
急性呼吸器感染症	報告数	191,135	64,611	4,101	3,359	3,618	11,699	9,908	18,729	13,197
	定点当たり	49.75	55.08	60.31	71.47	80.40	66.47	53.56	45.02	55.92
RSウイルス感染症	報告数	3,013	958	45	71	47	149	113	317	216
	定点当たり	1.28	1.34	1.18	2.63	1.88	1.34	1.00	1.21	1.57
咽頭結膜熱	報告数	589	154	5	1	3	31	25	70	19
	定点当たり	0.25	0.22	0.13	0.04	0.12	0.28	0.22	0.27	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,695	1,306	93	77	37	249	207	404	239
	定点当たり	1.58	1.83	2.45	2.85	1.48	2.24	1.83	1.54	1.73
感染性胃腸炎	報告数	10,159	3,114	145	87	221	525	414	1,126	596
	定点当たり	4.33	4.36	3.82	3.22	8.84	4.73	3.66	4.28	4.32
水痘	報告数	457	177	8	5	1	43	17	67	36
	定点当たり	0.19	0.25	0.21	0.19	0.04	0.39	0.15	0.25	0.26
手足口病	報告数	1,199	367	15	8	11	59	67	150	57
	定点当たり	0.51	0.51	0.39	0.30	0.44	0.53	0.59	0.57	0.41
伝染性紅斑	報告数	4,754	547	52	49	62	86	113	83	102
	定点当たり	2.03	0.77	1.37	1.81	2.48	0.77	1.00	0.32	0.74
突発性発しん	報告数	771	236	6	7	15	54	30	67	57
	定点当たり	0.33	0.33	0.16	0.26	0.60	0.49	0.27	0.25	0.41
ヘルパンギーナ	報告数	2,788	1,040	35	23	41	214	127	397	203
	定点当たり	1.19	1.45	0.92	0.85	1.64	1.93	1.12	1.51	1.47
流行性耳下腺炎	報告数	112	43	-	-	2	11	9	18	3
	定点当たり	0.05	0.06	-	-	0.08	0.10	0.08	0.07	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	754	330	65	2	36	49	64	34	80
	定点当たり	1.08	1.56	3.82	0.17	2.57	1.14	1.83	0.87	1.54
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	32	6	1	2	-	1	1	-	1
	定点当たり	0.07	0.07	0.08	0.29	-	0.08	0.11	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	504	86	8	19	28	18	2	9	2
	定点当たり	1.05	1.00	0.62	2.71	3.11	1.50	0.22	0.36	0.18
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	5	2	-	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.04	0.09

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第15週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第16週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第17週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第18週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第19週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第20週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第21週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第22週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第23週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第24週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第25週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第26週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第27週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第28週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第29週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第30週](#)

感染症の流行状況 2025年 第37週

2025年第37週（9月8日～9月14日）は、2025年4月以降、増加傾向が続いていた百日咳は、減少傾向となっているものの、まだ多い状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症は、第34週から第36週にかけて緩やかな減少傾向にありましたが、今週は前週の値を上回りました。
咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

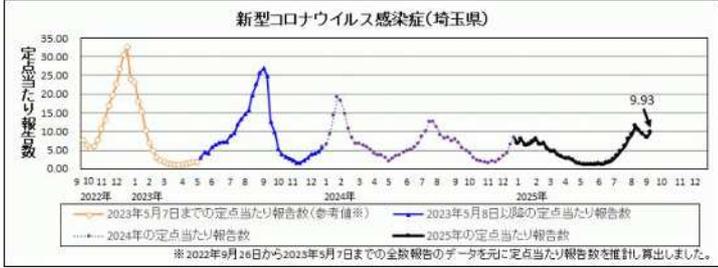
全数把握対象疾患（百日咳）

第37週に診断された患者数は101人で、この内訳を年齢階級別にみると、5～9歳が20人（全体の約20%）と最も多く、次いで1～4歳及び10～14歳が各19人（約19%）でした。



定点把握対象疾患（新型コロナウイルス感染症）

定点当たり報告数は9.93で、第34週から第36週にかけて緩やかな減少傾向にありましたが、今週は前週の値を上回りました。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	↓	★★
急性呼吸器感染症	→	—	変容性糸状菌	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	ヘルパンギーナ	→	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★★★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフをご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。